

平成 26 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフィーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 六反田 靖
管理担当兼経理部長
(TEL.03-5472-1578)

営業外費用、特別損失等の発生及び業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 4 月 14 日に公表した、平成 26 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想値と本日公表の決算において、下記の通りの差異が生じたのでお知らせいたします。また、営業外費用、特別損失等が発生しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値との差異（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	18	△414	△342	△343	△37.35
今回実績値(B)	4	△358	△277	△286	△31.28
増減額(B-A)	△14	56	65	57	
増減率(%)	△77.78	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期 第 2 四半期 (累計))	-	△290	△222	△223	

2. 業績予想との差異の理由

売上高に関しましては、上半期に見込んでいました血中浮遊がん細胞検査薬 OBP-1101 のライセンス契約一時金発生が、下半期へずれ込む見込みとなったため、想定を下回りました。

また、利益面では、研究開発費の一部見直し、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)や JST(科学技術振興機構)等からの助成金収入、Medigen Biotechnology Corp. からの受取研究開発負担金収入を計上などにより、営業利益、経常利益並びに当期純利益は前回発表予想を上回りました。

その結果、売上高は前回発表予想を下回り 4 百万円でしたが、損失額は前回発表予想よりも縮小し、営業損失 358 百万円、経常損失 277 百万円、当期純損失 286 百万円となりました。

尚、通期業績予想の変更はありません。

3. 営業外費用、特別損失等の発生

当社の第 2 四半期（累計）の実績値において、営業外費用、特別損失等が発生しています。当社営業損失は 358 百万円でしたが、営業外収益として NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)や JST(科学技術振興機構)等からの助成金収入 51 百万円、Medigen Biotechnology Corp.から

の受取研究開発負担金 36 百万円等を計上し、営業外費用として為替差損 4 百万円、支払利息 2 百万円等を計上した結果、経常損失は 277 百万円となりました。また、平成 26 年 3 月 20 日に「本店移転に関するお知らせ」にて開示しました本店移転に伴う特別損失として本社移転費用 8 百万円計上した結果、当期純損失は 286 百万円となりました。

以 上